

岩手県職労

号外

昭和34年4月1日

第3種郵便物認可

定価1部2円

発行所

盛岡市内丸10番1号

岩手県庁内

No.2263

2013年

11月6日

一戸町議会議選
(日曜日 投開票)
峠 勇男さんを推
薦決定！知人へ
の声かけを！

13 確定闘争情報 - 9

現給保障

今年度中に廃止決定はしない

1月昇給の他県の取り扱い見て判断 50歳台後半層昇給抑制

県地方公務員共闘会議（議長：豊巻浩也・岩教組委員長）は5日、大槻人事課総括課長と交渉を行い、「現給保障の継続」「50歳台後半層の昇給抑制の阻止」「給与削減の即時終了」などを求めた。交渉では、6,644筆（うち県職労分2,095筆）の知事あて大型ハガキ署名も提出し、組合員の切実な願いも訴えた。

大槻課長は、主要課題について「人勧尊重」としながらも、「現給保障の継続」と「50歳台後半層の昇給抑制」については「他県等の状況も見たい」とした。

地公共闘は来週11日に総務部長と交渉を行い、50歳台後半層の昇給抑制について12月議会への提案見送りを確認していく。



大型ハガキ署名を手交する豊巻議長(左)

現給保障の継続を！

《地公共闘》現給保障廃止での生活への影響は大きい。再考を求めてきたが検討状況は？

【大槻課長】2015年4月からの廃止が県人勧で言及された。他県の状況を見ながら検討したい。

《地公共闘》現給保障の役割は終わっていない。来年度も継続して協議していくべき。

【大槻課長】人事委員会が示した廃止期限までにはまだ時間があり、他の都道府県における対応状況等をみて検討していく必要があると考えている。

《地公共闘》「今年度中の廃止決定はしない」ということでよいか。

【大槻課長】そのとおり。

50歳台後半層昇給抑制の導入阻止！

《地公共闘》この年代は、経験と知識で復興をリードしていく世代。復興をリードする世代を狙い撃ちした改悪。勤務意欲を削ぐ抑制には断固反対だ。

【大槻課長】廃止は昨年の県人勧で示されたもの。基本的に勧告を尊重する考えに変わらない。

《地公共闘》組合側が求める問題が解決しないままでの、12月議会へ強行提案は許さない。

【大槻課長】他県では1月昇給のところもある。こうしたところの取り扱いを見たうえで検討する必要があると考えている。本県としての対応方針等は上司と相談したい。

給与削減の即時終了を！

《地公共闘》地方交付税が確定した。給与費相当額は削減提案当時と比べてどうなったか。

【大槻課長】全体額としては△7億1100万円だが給与費見合いの増減額の算定は困難。

《地公共闘》財政捻出できた分はまず給与費へ還元すべき。率や期間の圧縮はできないのか。

【大槻課長】県財政的に圧縮は困難。政府等へ交付税削減が二度とないよう求め続けていく。

雇用と年金の接続へ、希望者全員の再任用を！

《地公共闘》当面の再任用にあたっては、継続雇用の観点から希望者全員の雇用を約束されたい。

【大槻課長】地公法上は「従前の勤務実績等に基づく選考」が要件だが、一方で無年金期間における雇用と年金の接続という観点から、再任用の希望者には十分な配慮が必要と捉えている。

労働条件の改善 通勤手当改善、夏季休暇増日を！

《地公共闘》消費増税によるガソリン価格や運賃値上げを考慮し改善検討すべきではないか。

【大槻課長】勧告を踏まえての改定が基本。人事委員会は改定の必要はないとしているが、消費増税等状況の変化があれば、人事委員会もそうした事情も含めて判断するものとする。

《地公共闘》夏季休暇は、多くの県が適用している5日への増日を図るべきではないか。

【大槻課長】職員の心身の健康保持、リフレッシュの観点から、休暇改善については課題認識もっている。

《地公共闘》人事異動も広域化しておりガソリン高騰の打撃は大きい。夏季休暇も5日とすることで、まとめ取りもできリフレッシュにつながる。人事委員会へ強い申し入れをすべきだ。

【大槻課長】人事委員会でも私ども(人事当局)との窓口を閉ざしていない。夏季休暇は来年の勧告時期では来年の取得に間に合わないし、消費増税に関するご指摘等も踏まえ、引き続き人事委員会との議論・協議を続けていきたい。

一戸町議選 峠 勇男

県本部組織内・県職労推薦候補

一戸町議選が5日に告示(10日投開票)され、16人の定数に対し17人が立候補しました。県職労は、県本部組織内の現職「峠 勇男」さん(元一戸町職労副委員長)の推薦を決定しています。峠さんの必勝に向け、知人・友人への声掛けをお願いします。